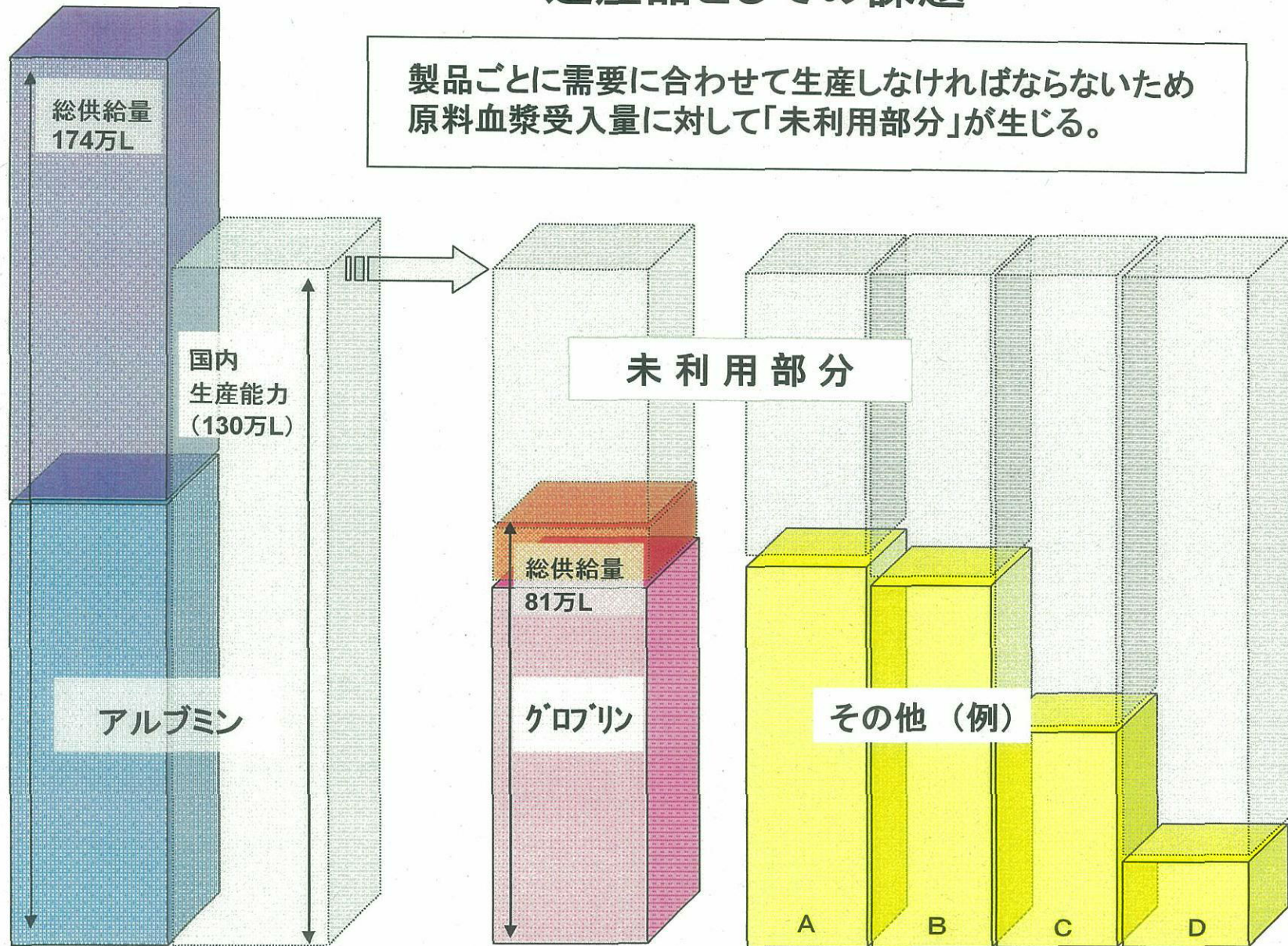


## 連産品としての課題

製品ごとに需要に合わせて生産しなければならないため  
原料血漿受入量に対して「未利用部分」が生じる。



(平成16年「第7回血漿分画製剤の製造体制の在り方に関する検討会」資料を参考にしたイメージ図)